

砂川市生活交通ネットワーク計画新旧対照表

現行	変更案
<p style="text-align: center;">砂川市生活交通ネットワーク計画 第2部</p> <p>第4章 砂川市生活交通ネットワーク計画</p> <p>4.1 計画策定の目的・必要性 砂川市の行政面積は <u>78.69 km²</u> と比較的小さく、中央部を南北に J R、国道 12 号が縦断しており、近隣市町へは国道と道道で連絡されている。(略)</p> <p>4.2～4.3 (略)</p> <p>4.4 計画の目標 (1) (略) (2) 計画の目標 砂川市における交通課題及び上位計画等を踏まえ、計画の目標を以下に設定する。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">目標①:新たな公共交通の導入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">砂川市の交通空白地域を改善し、交通弱者の移動手段を確保するとともに、利用者の利便性向上に向けて、<u>新たな公共交通の導入検討を進める。</u></div> <p>目標②～④ (略)</p> <p>4.5 目標を達成するために行う事業や取組み (1) 新たな公共交通の導入 【取組みの背景】 砂川市には、中央バスによる路線バスが運行しているが、交通空白地域が存在している。また、今後の人口減少や高齢化の進行状況を鑑みると、高齢者等の交通弱者の交通手段・移動機会の確保が課題である。 しかし、平成 25 年 9 月・平成 26 年 2 月の実証調査運行では、コミュニティバス、予約運行型乗合タクシーともに利用者は少ない結果であった。</p>	<p style="text-align: center;">砂川市生活交通ネットワーク計画 第2部</p> <p>第4章 砂川市生活交通ネットワーク計画</p> <p>4.1 計画策定の目的・必要性 砂川市の行政面積は <u>78.68 km²</u> と比較的小さく、中央部を南北に J R、国道 12 号が縦断しており、近隣市町へは国道と道道で連絡されている。(略)</p> <p>4.2～4.3 (略)</p> <p>4.4 計画の目標 (1) (略) (2) 計画の目標 砂川市における交通課題及び上位計画等を踏まえ、計画の目標を以下に設定する。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">目標①:新たな公共交通の導入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">砂川市の交通空白地域を改善し、交通弱者の移動手段を確保するとともに、利用者の利便性向上に向けて、<u>新たな公共交通を導入する。</u></div> <p>目標②～④ (略)</p> <p>4.5 目標を達成するために行う事業や取組み (1) 新たな公共交通の導入 【取組みの背景】 砂川市には、中央バスによる路線バスが運行しているが、交通空白地域が存在している。また、今後の人口減少や高齢化の進行状況を鑑みると、高齢者等の交通弱者の交通手段・移動機会の確保が課題である。 しかし、平成 25 年 9 月・平成 26 年 2 月の実証調査運行では、コミュニティバス、予約運行型乗合タクシーともに利用者は少ない結果であったことから、平成 26 年 10 月から平成 27 年 1 月まで、<u>再度、予約型乗合タクシーによる実証調査運行を実施し本格運行に向けた検証を行った。</u></p>

現行	変更案
<p>【取組みの概要】 現状、砂川市民の主な交通手段は自動車【自分で運転】であり、自動車に依存した生活が定着している。しかし、今後は高齢化の進展により、自動車を運転できない高齢者が増加し、公共交通への需要は高まるとされ、現在のバス路線では、交通空白地域が残ることや、市民ニーズの多様化などにより、十分に対応できていない面がみられることから、新たな公共交通導入可否について、今後も継続して検討を進める。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) まちなかへのアクセス向上によるにぎわいの創出</p> <p>【事業の背景】 (略)</p>	<p>【取組みの概要】 現状、砂川市民の主な交通手段は自動車【自分で運転】であり、自動車に依存した生活が定着している。しかし、今後は高齢化の進展により、自動車を運転できない高齢者が増加し、公共交通への需要は高まるとされ、現在のバス路線では、交通空白地域が残ることや、市民ニーズの多様化などにより、十分に対応できていない面がみられる。 <u>このようなことから、交通空白地域を改善し、交通弱者の移動手段を確保するため、各地域からまちなかを結ぶ効率的で持続可能な新たな公共交通を導入する。</u></p> <p>【具体的な事業】 <u>市内全域・全市民を対象として、自宅とまちなか区域に設定する目的地間を予約型乗合タクシーにより運行する。</u></p> <p>■運行内容</p> <p><u>1 毎日運行（平日：往復6便 土日祝日：4便）</u></p> <p><u>2 3エリアによる区域運行（自宅と目的地間を運行）</u></p> <p><u>3 運賃</u></p> <p>・一の沢地区、北光地区の一部、焼山地区の一部、空知太地区、富平地区 <u>大人500円 中学生以下100円</u></p> <p>・上記以外の地区 <u>大人300円 中学生以下100円</u></p> <p>※未就学児は無料</p> <p><u>4 目的地（まちなか乗降地）</u></p> <p><u>①砂川駅 ②砂川市立病院 ③公民館 ④ふれあいセンター</u> <u>⑤ショッピングプラザ AiAi ⑥スーパーふじ</u> <u>⑦コープさっぽろ ⑧砂川市立病院前バス停（北海道中央バス停留所）</u></p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) まちなかへのアクセス向上によるにぎわいの創出</p> <p>【事業の背景】 (略)</p>

現行							変更案							
【事業の概要】 新たな公共交通を導入する際、「砂川市立病院」等の公共施設や「ショッピングプラザ AiAi」、「スーパーふじ」、「市民生協」などの商業施設といった生活利便施設へ接続する交通体系を構築し、生活移動における利便性の向上とまちなかの活性化を図る。 (4) (略) (5) 事業スケジュール							【事業の概要】 新たな公共交通を導入する際、「砂川市立病院」等の公共施設や「ショッピングプラザ AiAi」、「スーパーふじ」、「コープさっぽろ」などの商業施設といった生活利便施設へ接続する交通体系を構築し、生活移動における利便性の向上とまちなかの活性化を図る。 (4) (略) (5) 事業スケジュール							
項目		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		実施主体
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
新たな公共交通の導入検討														
①新たな公共交通の導入検討		運行内容の検		運行準備 住民周知		本格運行								砂川市 交通事業者
交通機関の乗り継ぎによる公共交通の利便性向上														
①JR、都市間バスの出発・到着時間に合わせた時刻設定		実施内容の検討		実施内容の検討		実施								砂川市 交通事業者
まちなかへのアクセス性向上によるにぎわいの創出														
①新たな公共交通の生活利便施設への接続検討		実施内容の検討		実施内容の検討		実施								砂川市 交通事業者
バス交通の利用促進の検討														
①既存バス路線におけるバス停の改善		実施内容の検討		実施内容の検討		実施								砂川市 交通事業者
②既存バス路線と連携した新たな公共交通のわかりやすいバスマップの作成		実施内容の検討		実施内容の検討		配付・普及啓発								砂川市 交通事業者
※平成 27 年度以降の事業計画は予定														
4.6 計画期間 本計画の期間は、平成 26 年度から平成 28 年度の 3 カ年とする。ただし、本計画を実施する中で、変更が必要となった場合には、見直しを行うものとする。							4.6 計画期間 本計画の期間は、平成 27 年度から平成 29 年度の 3 カ年とする。ただし、本計画を実施する中で、変更が必要となった場合には、見直しを行うものとする。							